

地球温暖化による影響から くらしを守る

地球温暖化が進行することにより、宗谷地方の気象や海洋には、どのような影響があるのでしょうか。地球温暖化による影響から私たちのくらしを守るためにできることを、考えてみませんか。

日時

平成 30 年 10 月 13 日 (土)

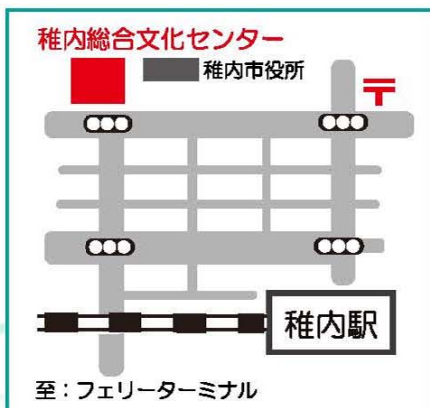
13時00分～16時00分 (開場12時30分)

会場

稚内総合文化センター (小ホール)

定員

200名 (入場無料)



<問い合わせ先・ホームページ>

札幌管区气象台 011-611-3217 <https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

稚内地方气象台 0162-23-2679 <https://www.jma-net.go.jp/wakkanai/>



気象庁



稚内市



日本気象学会

主催：札幌管区气象台 稚内地方气象台 共催：稚内市 日本気象学会北海道支部

後援：北海道開発局稚内開発建設部 北海道宗谷総合振興局 北海道立総合研究機構稚内水産試験場 NHK旭川放送局
エフエムわかかない 北海道新聞社稚内支局 宗谷新聞社 稚内プレス社 気象友の会

地球温暖化・防災講演会 プログラム

13:00 開演(開場 12:30)

主催者・共催者挨拶

13:10 I 基調講演

「地球温暖化で北海道の気象はどうなる？」

札幌管区気象台 気象防災部長 藤川 典久 (ふじかわ のりひさ)



北海道の気温は120年前と比べて約1.9℃高くなっており、大雨の頻度も増加してきています。地球温暖化の進行に伴い、21世紀末に向けて、気温はさらに上昇し、大雨の頻度や強度がさらに増加することが予測されています。

講演では、地球温暖化に伴い、北海道の気象がどのように変化するのか、予測情報が意味するところを解説します。

「地球温暖化・海洋酸性化の状況と対策」

北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授 藤井 賢彦 (ふじい まさひこ)



地球温暖化や海洋酸性化が進行すると、海洋生物の生息域が変化したり、海洋生物の殻が溶けやすくなったりして、将来的には貝やウニ、エビ、カニなどが棲みにくい海になってしまう可能性があります。

講演では、地球温暖化や海洋酸性化が海洋生物や沿岸社会に及ぼす影響、特に稚内の主要な産業である水産業や観光業に対する影響や二酸化炭素を削減するための取り組みについて紹介します。

14:50 II パネルディスカッション

「地球温暖化に備えて、私たちができること」

コーディネーター

藤井 賢彦 (北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授)

パネリスト

平澤 朋美 (稚内地方気象台 観測予報管理官)

土門 伸一 (稚内市総務防災課長)

星野 昇 (稚内水産試験場調査研究部 研究部長)

東海林 到 (稚内市こまどり町内会 防災担当)

16:00 終了

◎総合司会 杉谷 賢俊 (エフエムわかない)